



アシュフォード キャッスル「Ashford Castle」は、ノルマン系イングランド人のパーク家によって、1228年に修道院の遺跡であった土地に建てられた。アイルランド最古のキャッスルで、高くそびえる楼閣や複雑に入り組んだ城郭建築は、まさに中世の城に我々が抱くファンタジーそのままの姿で現存する貴重なホテルである



中2階の回廊から俯瞰した館内中央部に位置するロビーラウンジ。中2階の回廊部分にはライブラリーやゲストブックルームなどがある



大きく「Ashford Castle」の案内板を掲げた入城門



城内は約350エーカーの広大な敷地を擁し、樹林帯とコリブ湖を望む庭園が広がる



ロビーラウンジに一列に並ぶ椅子はお洒落で大きなアクセントになっている



アフタヌーンティーで有名な「The Connaught Room」の壮麗な佇まい

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテリアが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままに撮ってきた写真を掲載する。

Ashford Castle Hotel

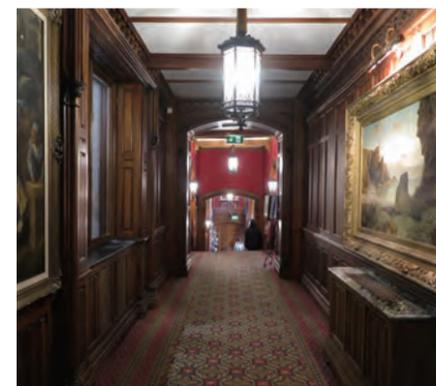
アシュフォード キャッスル「Ashford Castle」は、ノルマン系イングランド人のパーク家によって、1228年に修道院の遺跡であった土地に建てられた。アイルランド最古のキャッスルで、高くそびえる楼閣や複雑に入り組んだ城郭建築は、まさに中世の城に我々が抱くファンタジーそのままの姿で現存する貴重なホテルである。かつてギネスファミ



筆者 **小原 康裕**
ホテリアジャーナリスト
慶応義塾大学法学部法律学科卒。74年 Munich Re 入社。85年築地原健代表取締役。2001年投資顧問会社原健設立、代表取締役 CEO。JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント協会理事。
www.jhrca.com/worldhotel
現在、筆者のホームページで「世界のリーディングホテル」を連載中。私のファーストアルバム「World's Leading Hotels」はお陰様で好評を頂いておりますが、写真集第2弾「World's Prestige Hotels世界の名門ホテル」を去年6月に発刊いたしました。独自に取材した世界各地の最高峰ホテルを華麗な写真と共に解説しております。ファーストアルバムに引き続きご愛読して頂ければ幸いです。



庭園の南端には365の島々が浮かぶコリブ湖を望め、まさに日本の墨絵のような情景が広がる



アシュフォード キャッスルの悠久の歴史が伝わる館内廊下



見事な年代物のシルバーウェアが並ぶ「The Connaught Room」のプライベートダイニングルーム



メインダイニング「The George V Dining Room」のエレガントなテーブルセッティング。英国王ジョージ5世とメアリー王妃の名を冠した格調高いレストランで、エグゼクティブシェフのPhillippe Farineau氏が腕を振るうアイルランドのクラシック料理を堪能できる



正装したレストランマネージャー氏と専任ソムリエ氏



「The George V Dining Room」の優雅なディナー風景



「The Prince of Wales Bar」は皇太子時代の英国王ジョージ5世を冠したバーで、皇太子のロイヤルワラントが椅子やクッションに記されている



「The George V Dining Room」の地下部分には広大なワインセラーを保有している



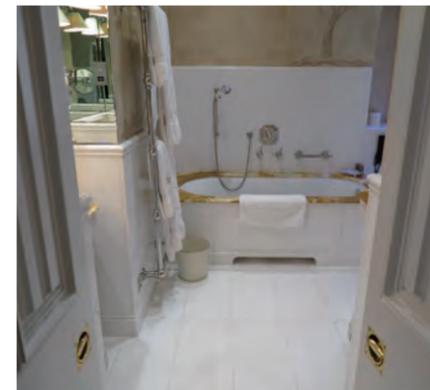
ベッドサイドから望む「Lake View Junior Suite」。天井が非常に高く、ベッド上にロフトを用意したスイートで、窓からはコリブ湖の美しい風景が望める



キングサイズベッドはクラシカルな天蓋が付き、左側の階段からベッド上に用意されたロフトに上られる



「Lake View Junior Suite」のシッティングエリア。夜のターンダウンの際は、暖炉に火が燈される



清潔感溢れる広いバスルーム



スパ施設「The Spa at the Ashford Castle」内にある優雅な室内プール

リーに所有されたこともあり、1939年に高級ホテルとしてオープンした。客室とスイートはオリジナルの特徴を細部まで修復した伝統的なデザインで、クラシカルな意匠の中にもモダンなアメニティーを共に備えている。ホテルは2013年、高級ブティックホテルを展開するグループ「The Red Carnation Hotel Collection」に買収された。その後、徹底的なリノベーションを施して2015年にLHWに加盟して本格的に再オープンしている。

アシュフォード キャッスルはアイルランド西海岸の中心都市ゴールウェイの北、コリブ湖畔にある風光明媚なコングの町にある。1951年に、映画監督のジョン・フォードはジョン・ウェインとモーリン・オハラが主演する『静かなる男』を撮影するためにこの城を訪れた。アッシュフォード城の土地及びコングの近隣は、映画でエピソードの多くの背景として使用され、当時は大きな話題を集めた。

アシュフォード キャッスルはスイートを含め全83室を擁し、すべて意匠の違う部屋から構成されている。今回は「Lake View Junior Suite」をご紹介します。天井が非常に高く、ベッド上にロフトを用意したスイートで、窓からはコリブ湖の美しい風景が望める。メインダイニング「The George V Dining Room」は英国王ジョージ5世とメアリー王妃の名を冠した格調高いレストランで、エグゼクティブシェフのPhillippe Farineau氏が腕を振るうアイルランドのクラシック料理を堪能できる。「The Prince of Wales Bar」は皇太子時代の英国王ジョージ5世を冠したバーで、皇太子のロイヤルワラントが椅子やクッションに記されている。スパ施設「The Spa at the Ashford Castle」は「Ireland's Best Hotel Spa」のアワードを誇る。

アシュフォードキャッスルの庭園の南端には365の島々が浮かぶコリブ湖を望め、まさに日本の墨絵のような情景が広がる。アシュフォードの雰囲気魅せられて、20世紀初めには英国皇太子、後の国王ジョージ5世が古城に1か月も滞在したという。また、『静かなる男』の撮影中にはジョン・ウェインら撮影陣が滞在し、レーガン元大統領やモナコのレーニエ3世とグレース公妃らも宿泊した名門ホテルである。